

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	(株) あっふる	事業所名	あっふる看護多機能ひめじ
所在地	(〒 670 - 0837) 姫路市宮西町 3 丁目 14		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

介護が必要になっても、住み慣れた家や地域で、安心してその人らしい暮らしを続けられるよう支援しています。ご利用者様とご家族様のご事情に合わせて、急なお泊まりや、朝早く・夜遅い時間のデイサービスにも柔軟に対応しています。医療ケアが必要な方でも安心して過ごしていただけるよう、主治医やご家族様とスタッフがしっかりと情報を共有しています。近隣の施設とも連携し、イベントの参加や地域の方との関わりがもてるよう取り組んでいます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 12 月 25 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 2 月 16 日	出席人数 (合計)	(6) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成が十分に行き届いていないため、スタッフが成長できるよう育成計画を立てて実施する ・内部、外部問わず研修に参加しスキルアップを図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例研修やミーティングにて議題にあげ、研修を行っている ・内部、外部の研修会に積極的に参加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などが「どれくらい実施したか」が見えると外部の委員にも分かりやすいのではないかと
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや申し送りを通して、多職種で情報を共有しながら、支援の方法をそろえていけるように取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな体調の変化も丁寧に記録し、現状を把握して共有することを心がけた
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時や事故発生時に看護職員と介護職員がスムーズに連携できるよう、緊急時対応マニュアルを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフからの意見や実際の事例をもとに緊急時マニュアルを作成した
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりが少ないため、利用者一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を十分に把握できていない現状がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や訪問時に地域の状況に目を向けて情報収集を行う ・秋祭りなど地域行事の参加や介護相談、見学を通して地域とのつながりを深めていく
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様やご家族様に安心していただけるサービスを提供していくため、スタッフの知識や技術の向上を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・内外の研修に参加しながら、知識や技術を少しずつレベルアップしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容をすべてのスタッフに情報共有してレベルアップしてほしい

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成が全スタッフに十分行き届いていない現状を踏まえ、育成計画を策定し計画的に取り組む ・内部・外部の研修に積極的に参加し、個々のスキル向上につなげていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で策定されたさまざまな研修計画に基づき研修を実施し、職員一人ひとりの知識および技術の向上を継続的に図っていく 	
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種が専門的な視点で利用者の特性や変化を的確に把握し、ミーティング等で情報を共有することで、理解を深めながら質の高い支援につなげていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種が日常の関わりの中で把握した利用者の特性や変化について、ミーティング等を通じて継続的に情報共有を行い、職種間の共通理解を深めながら、より質の高い支援につなげていく
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から対応方針について相談・共有を重ね、緊急時にもスムーズに連携できる体制づくりに努める ・緊急時の対応に関する施設としてのマニュアルを整備し、利用者皆さまに安心してご利用いただける環境づくりに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを整備し定期的に見直し随時、更新していく ・ミーティング等で利用者の状態や生活上の変化を定期的に共有し、支援方法の確認・見直しを行う ・職種ごとの視点を尊重しながら意見交換を行い、支援の方向性を統一する
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での情報共有に加え、送迎や訪問の際にも意識的に情報収集を行い、地域行事への参加につなげていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の参加だけでなく施設を地域に開放する取り組み、地域交流スペースの活用等も検討する
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに利用者やご家族に安心していただけるサービスを提供するため、職員の知識と技術の向上に継続的に取り組む ・医療ニーズの高い利用者様も安心してご利用いただけるよう、受け入れ体制の充実に努めていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの知識・技術のスキルアップを図り、内部研修および外部研修への参加を継続して行う ・医療ニーズの高い利用者についても安心してサービスを利用していただけるよう、看護師・介護職間の情報共有を徹底し、緊急時対応や医療的ケアに関する体制整備を進める支援が提供できるよう努めていく 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	9	3	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・医療ケアの必要な方、看取りの方も柔軟に受け入れている ・家族の負担軽減のため通いや宿泊の追加の提案を行っている ・その人らしく在宅生活が継続できるように、家族、本人の思いを大切にしている					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	0	9	4	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・スタッフが事業理念を理解し共有できるように吊り下げ名札に入れ携帯している ・利用者様の思いを大事に、個々に合わせたレクリエーションや外出を行っている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		る。また、馴染みのある場所、人との関わりが途切れないようにしている ・家族、利用者様に温もりを感じて頂ける介護サービスを心がけている					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	0	5	8	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・相談や新しい取り組みを行う前にスタッフ間で話し合いやミーティングを行い意見交換や情報共有を行っている ・ミーティングなどで定例研修を実施しているがスタッフによりばらつきがある					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	0	8	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を全職員に受講させる等、高い目標を掲げて取り組んでいる。 ・オンライン研修はメリットもあるがデメリットも多いと思う。対面での研修も必要だと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・スタッフがスキルアップのため自身で介護等の外部研修に参加しているが日々の業務の中に落とし込むことができないうように思う					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修をオンライン研修で参加し、他社の看護多機能の取り組みを知ることができている ・外部講師による認知症研修に参加している ・定例研修を行っているが、内容が毎年同じような内容になっている 					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	11	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリを使用しスタッフ間で情報共有できているのは良い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1回、午後にスタッフミーティングを行っている ・利用者様の体調変化等があれば報告し情報共有を行っている ・介護スタッフから看護師にすぐに相談や報告ができる環境にあり安心して業務に取り組むことができている ・日常の業務の中で情報共有ができていることが多い ・日々の申し送り事項は 117 アプリ（社内共有アプリ）にて報告し情報共有ができている 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	11	1	0	・包括からの情報がきちんと職員に伝達できている	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・推進会議後に管理者よりスタッフに伝達、情報共有ができています ・地域の現状も知ることができ、また家族様への提案（徘徊、見守りシステム）等、情報共有ができています					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	3	9	1	0	・職員の方どうしの人間関係や雰囲気等働きやすさも変わってくると思うので、協力体制が整っているのはとてもよい ・スタッフの方の働き方の安定感を利用する側にもその雰囲気が伝わると思うのでいいことである ・良い取り組みである	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・スタッフ個人に合わせた勤務時間を設けている ・子の体調不良時等、休みが取りやすく安心して勤務ができています ・休みが取りやすい職場の雰囲気である。また、お互いに協力をしながら勤務がで					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		きている ・看護師に常に相談ができる環境にあり 介護スタッフも安心して業務ができている					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	10	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・すべてにおいて情報共有ができていますのでよいですが、人間だれもがうっかりミスがでたりするのでその都度声かけも大事かと思う 	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の体調変化や困りごとなどの共有がミーティングで情報共有ができています ・業務の中で利用者様の体調の変化や困りごとの情報交換ができています ・117アプリを活用している ・公休であっても利用者様の状態を知る事ができています。申し送り事項を117アプリ（社内共有アプリ）で発信している ・新規利用者様の状態を情報提供表で確認ができるようにしている 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ でき てい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	2	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ハインリッヒの法則を理解し、ヒヤリハットの共有、対策が不可欠である 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例が発生したら報告しスタッフに情報共有している。また、ミーティングにて原因、再発防止策をスタッフ間でまとめ改善している ・ヒヤリハット報告書を用いて他部署の事例も共有できている ・定例研修にてヒヤリハットや介護事故報告書の重要性を周知できている 					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP 計画に沿って対応できるように職員に周知ができている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマ
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・定例研修にて BCP 対策の研修を実施しスタッフにも周知できている 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・BCP 計画に基づいた訓練を実施している（災害・感染症について） ・117 アプリ（社内共有アプリ）にて災害、安否確認登録の訓練を行っている ・地域の災害訓練に参加ができていない 					「ニューアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	2	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとした気になることを伝えてもらおうと、家族も気付いていないことを把握できてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・小さな体調変化などがあつた場合、随時、訪問ができる体制にあることを本人や家族様に伝えている ・施設での様子は把握できているが、自宅での様子も分からない時がある ・送迎中に家族様より、自宅での困りごとや体調変化を聞くことが多い。小さな変化でも介護支援専門員に報告、相談するようにしている 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有のルールをスタッフで合意すること ・リアクションの徹底が必要 「見たらスタンプを押す」など「とりあえず共有」も有効と思う 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	5	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・感情がある人間どうしなので利用様どうしの相性もあると思うので、座る所にも少し気にかけて頂けるとありがたい（自身の身内から聞いたことがある） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとの行事が楽しみになり、体を動かせることが前向きな気持ちを向上させていくと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		機能訓練やリハビリメニューを継続して行えるように指導していただき、多機能計画書にも反映させている ・テレビ体操や脳トレ、レクリエーションを行っています					要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	3	7	3	0	・介護スタッフの“いつもと違う”という視点で小さな体調変化でも看護師や家族様へ報告していることは重要である	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防マットレスの使用など、予測できることは事前にふまえてケアを行っている ・利用者様に体調変化があれば、看護師に報告している。 ・介護スタッフの“いつもと違う”という視点で小さな体調変化でも看護師や家族様へ報告している ・看護師に状態を報告し、今後どのようなことが起こりうるか、また、どこに気をつけたら良いか指示をもらうようにしている ・体調変化があればケアマネジャーにも報告し、必要時、ケアプランも変更して 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		もらいながら対応している					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	8	3	0		<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までできていたことが出来にくくなってきた等、小さなことでも報告をしている ・居宅サービス計画書の更新の際は、スタッフミーティングを行い、意見交換を行い計画に反映させている 					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	3	7	3	0		<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通い、宿泊の利用が多くなっているのので自宅で過ごす時間も増やしていきたい ・家族の介護負担の軽減のため、通いを増やすことを先に提案しているので訪問 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		介護でのサービス提供も提案していきたい					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	11	1	0	・必要に応じて薬局も MCS に入れてほしいです	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・訪問看護指示書をもらい、毎月報告書にて経過を報告している ・MCS（アプリ）を使い、主治医とも連携を図っている。すぐに相談でき指示を仰いでもらえている ・薬の変更がある場合は薬局様にも利用者様の状態の変化も報告している					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	3	9	1	0		✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・お互いに協力し合える環境である ・経験豊富な看護師が勤務しており、す					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ぐに相談できている ・看護師よりケア方法について指示があるため介護スタッフも安心してケアを行うことができている					供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	9	1	0	・介護職、看護職との情報がきちんと共有され、利用者の変化に対応できている	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・日々の利用者様の状況などミーティングで意見交換ができている ・申し送りを活用している ・介護スタッフ、看護スタッフがお互いに協力し合える雰囲気である。また、小さなことでも相談しあえる環境である ・時々、スタッフ内で意見が食い違うこともあるが、まずは利用者様、家族様の思いを第一に考えること伝えている					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	5	5	3	0		✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ミーティングや疑問に感じたことはすぐに相談している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様に体調の変化があれば、今後、気をつけていくこと等の指示をもらっている ・医療ケアについては相談するとすぐに答えがかえってくるので介護スタッフとしては安心してケアを行えている 					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	3	9	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者様の情報提供は管理者、看護師より説明をもらえている ・契約時に質問があった場合は納得頂けるまで説明を行なっている ・相談、見学の際はパンフレットを通じて料金説明をしている ・家族様からサービス内容について質問があった場合は管理者や CM だけでなくスタッフも対応ができている 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	11	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症への対応をきちんと利用者や家族に説明し、理解を得られている ・家族にはこまめに説明をすることが大切である 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>認知症などで本人の思いを聞き出すことが難しい場合もあるが、楽しみをもって施設を利用されているので理解を得ていると思われる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の意向も大事にしたいが、家族様の意向が反映されていることが多い 					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	10	2	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から家族様への医療ケアなどの指導が行えている ・家族様へ自宅で行う処置について、分かりやすく説明している ・必要時、訪問し家族様には安心して頂けるまで説明ができています 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	1	10	2	0		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ご家族様と情報共有し、本人の思いを大事にしながら施設を利用して頂けている ・サービス利用時に本人の意向を大事にされているご家族様が多いため、本人の思いは反映できているように思う					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	10	2	0	・利用者本人だけでなく家族の気持ちをくみとった声かけをして下さるので少し気が楽になる。介護者の年齢にもよるかも知れませんが、体力よりも精神的なことが介護を続ける大部分をしめている	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・家族様と相談しながら対応方針を検討している ・自宅訪問の際には在宅生活の継続ができるかどうかの聞き取りを行っている ・家族様の介護負担が増大していないか声かけを行い、気持ちに寄り添うように心がけている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	2	8	3	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	9	3	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	3	4	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時（地震、火事、知らない人が入ってきた等）その場面において対応しないといけないし、昼間か夜間かによってもかわってくるので難しいが、考えておかないといけない問題である 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時には主治医に連絡し指示を仰いでいる ・緊急時“#7119”の利用をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートにつ	1	9	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォーマルサービス等情報は随時、包括より発信しそれが職員に周知できている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・運営推進会議において民生委員・地域包括支援センターとの情報交換ができています				・12月から民生委員になったばかりで、何が出来るか分からないが出来る範囲で頑張っていく ・これからも継続してほしい	供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	2	10	1	0		✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・運営推進会議の記録は誰もが閲覧できるように玄関に掲示している					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	9	2	1	・これからも続けてほしい	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・施設内覧会を定期的で開催し近隣の方に施設の概要を知って頂く機会を設けている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・認知症サポーター養成講座の開催も行っている					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	0	0	0	13		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・夜間に関しては受け入れ体制が整っていないのが現状である					できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	0	4	9	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・夜間に関しては受け入れ体制が整っていないのが現状である					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	0	8	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・対象者が少ないですが、今後、積極的に受け入れをしていきたい					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステ	0	8	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ムの構築方針や計画の内容等について理解している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・概ねできているが理解を深めるため定例研修やミーティングで取り入れ学んでいきたい					たっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	1	7	5	0		✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	10	3	0		✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進会議を通して地域の方々と問題や改善策を考えている 					<p>要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0	11	2	0		<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族様から介護技術などについて教えてほしいと依頼があれば訪問し伝えている ・ 見学や相談の際に、介護技術などのアドバイスも行っている 					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護と介護の両面からポートすることで概ね達成されている ・安全、安楽については達成されている ・個別に計画目標があり、センサーマットなどを使用することで転倒、転落に留意した生活を送ることができている		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られ	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	ている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・訪問時などに不安がないか聞き取りし 安心感が得られるようにしている ・常時、相談ができるような体制を整え ている ・訪問看護の体制を取り入れている		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④ 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・24時間、電話連絡ができる体制は整えている ・現状、在宅で看取りを希望される方が少ないが、その時その時の本人、ご家族様の意向を大事に対応していきたい	・在宅でも看取りになった時にもあつぷるを利用できることを知らなかったのを知ることができて良かった	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」